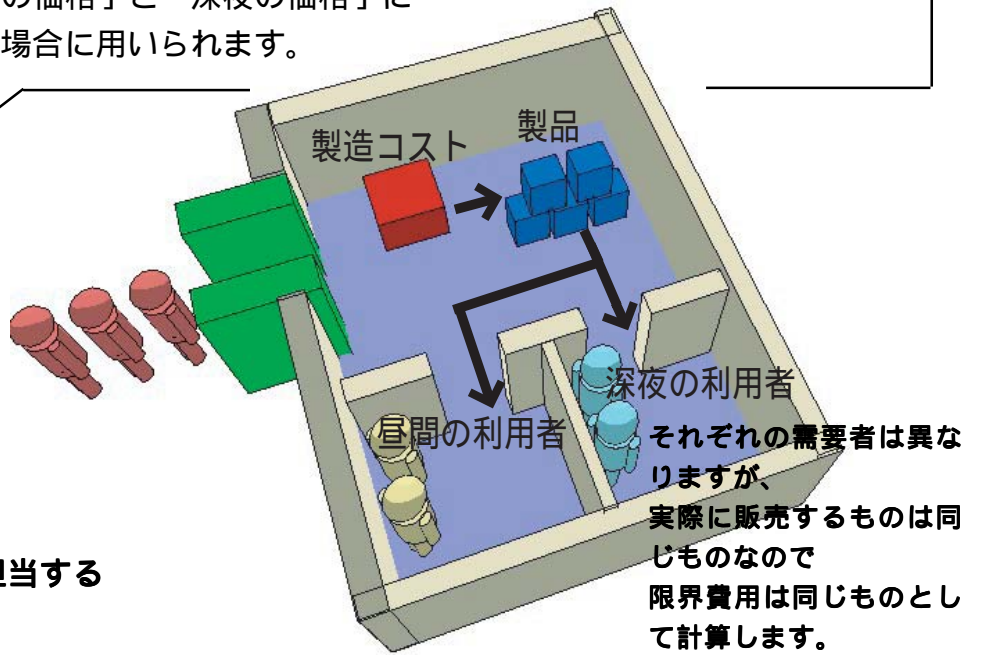


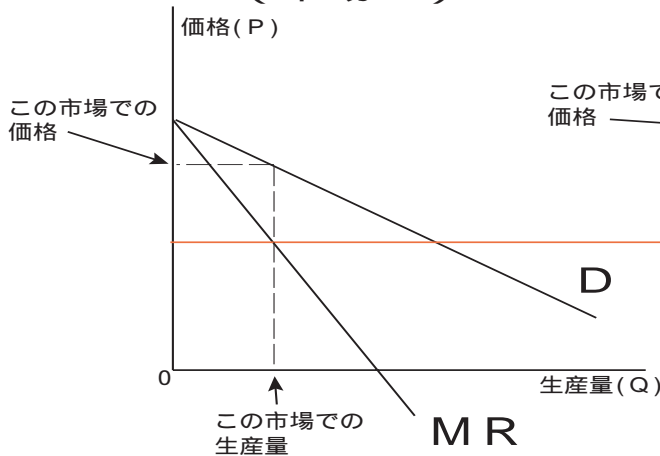
独占企業が2つの市場で販売するのは、「差別価格」テーマであり、同種の製品を2つの市場、例えば「昼間の価格」と「深夜の価格」に分けて販売するような場合に用いられます。



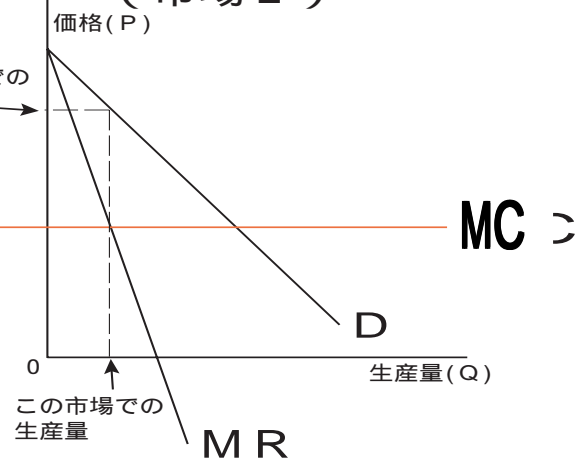
2004年合格目標を担当する「もぎもぎ」です。



昼間の利用者
(市場1)



深夜の利用者
(市場2)



需要曲線 (D) より、限界収入 (MR) を求める。

市場1 $P_1 = 90 - 5Q_1$

$MR_1 = 90 - 10Q_1$

市場2 $P_2 = 190 - 20Q_2$

$MR_2 = 190 - 40Q_2$

例えば、独占企業が同種製品を第一市場では Q_1 個、第二市場では、 Q_2 個販売していると想定する。

分けて販売しているだけで、もともとの生産量は一カ所で行っており、 $50 + 40(Q_1 + Q_2)$ は、 $TC = 50 + 40Q$ とまとめられる。

総費用より、限界費用 (MC) を求める。

$MR_1 = MC$ より
 $90 - 10Q_1 = 40$
 $Q_1 = 5$

利潤最大の生産量は
 $MR = MC$ で求められる。

$MR_2 = MC$ より
 $190 - 40Q_2 = 40$
 $Q_2 = 15/4$

